

平成24年 大館市の10大ニュース

順位	項目	説明
1	本場大館きりたんぽまつりin大館樹海ドームの成功	40回目の大きな節目を機に天候に左右されないドームに会場を移しイベントを大型化。県内外へのPR活動が実り10月13日・14日の2日間で86,000人が来場。きりたんぽの産業化に向けた大きな一歩を踏み出した。平成25年は3日間開催を目指す。
2	御成町南地区区画整理事業で仮換地の使用を開始	昨年8月30日の仮換地指定を経て、建物移転補償、道路・上下水道の整備、整地等が順調に進捗し、今年8月5日には事業初となる使用開始が決定。これを皮切りに店舗や家屋の建設等、様々な土地活用が進み、街並みの変化するスピードが加速する。事業完了目標は平成32年度。
3	子どもハローワークを開設～ふるさとキャリア教育が大盛況	4月に教育研究所内で子どもハローワークを開設。のべ1,000人を超える小・中学生が保育所での幼児のお世話など様々な職業体験に取り組んだ。特にきりたんぽまつり及び産業祭では700人以上がボランティア活動に参加しイベント成功に大きく貢献した。
4	市立病院の機能充実を推進（DPC病院、クレジット払い導入、駐車場拡張、コンビニエンスストア開店等）	4月から総合病院がDPC病院としてスタート。これにより、医療費が病名ごとに決定されるとともに他病院との比較が容易になることで、医療の質向上や経営改善に大きな効果が期待される。一方で、4月のクレジットカード払い導入（総合・扇田）、10月の駐車場拡張（総合）、11月のコンビニエンスストア開店（総合）等、利便性向上を図る取り組みも積極的に推進した。
5	企業誘致、新規投資が好調	養豚企業等を含め10企業12事業所の立地により、約150億円の新規投資が行われ120人以上の新規雇用が図られた。将来的には約250人の新規雇用が見込まれる。工業団地がほぼ完売したことから、今後の受け皿を確保するため、県営大館第二工業団地拡張や釈迦内工業団地（仮称）の整備に向けた取り組みに着手。新たに制定した「大館市空き公共施設活用促進条例」も企業誘致の切り札として大いに期待される。
6	大葛小学校が閉校、雪沢小学校の統合準備と北地区中学校統合への話し合いが進展	3月25日、大葛小学校閉校式を挙げる。明治7年9月の創立以来、1,794人の卒業生を輩出し、137年に渡る学校の歴史に幕を閉じた。また、より良い教育環境を目指し地域での協議を重ねた結果、雪沢小学校の長木小学校統合について地元の意向が固まり、平成26年度統合に向けた準備が始まった。さらには、第二・花岡・矢立3中学校の統合に向けた、北地区中学校統合準備委員会が発足。平成27年4月の統合を目指した話し合いが始まった。
7	市営新町住宅他建替え事業がPFI事業として始動、フレッシュハチもオープン	老朽化著しい新町・中町・向町3住宅の建替えについてPFI事業で実施することを9月7日に正式決定。平成25年度から解体に着手し平成27年度以降の供用開始を目指す。また、ハチ公小径ではNOSHOGフレッシュハチが4月13日にオープンし、中心市街地の核店舗として賑わいを創出。歩いて暮らせるまちづくりが進む。
8	市本庁舎建設検討委員会を設置	東日本大震災の発生を踏まえ強大な震災にも耐えうる市本庁舎のあり方を再考するための第一歩として、市本庁舎建設検討委員会を設置。8月21日に第1回委員会を開催し諮問。年度内には答申を受け、一定の方向づけがなされる見込み。
9	市防災連絡協議会の発足をはじめ防災・救急体制の強化が進む	市防災連絡協議会の発足、災害時要援護者支援管理システムの稼働、災害時派遣医療チームDMATの結成、ドクターヘリの運航開始、初の軽4輪消防車配備、中山取水場への発電機設置等、命を守ることを最優先に考えた様々な取り組みが更に推進された。
10	環境先端都市を目指した取り組みさらに（エコアクションポイント事業開始、3R推進プラザ整備事業着手、公共施設照明のLED化、メガソーラー誘致）	東北初となるエコアクションポイント事業を市内7事業所の協力を得て6月から実施し、市民のエコ活動やCO2削減に向けた活動に対するポイント還元を始めた。また、国の交付金内示決定を受け、3R推進プラザの基本設計等に着手。さらには91公共施設の蛍光灯7,030本のLED照明化、旧食肉センター跡地約3ヘクタールへのメガソーラー設置希望事業者と平成25年度事業着手に向けた覚書を11月に締結。
	その他のトピックス	ふるさと納税推進事業がスタート（大館ふるさと応援寄附記念品） 第5期介護保険事業計画始まる クマ被害相次ぐ（前年の倍以上の件数、警戒対策室を設置） 釈迦内松木立花線改良工事がほぼ完了し供用を開始 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業を実施 看護師奨学資金貸与条例制定（平成25年度から貸与開始） 消防救助技術大会水上の部で全国大会に初出場 比内地鶏糞処理施設の建設工事に着手 田代地域遭難者死亡事故3年連続ゼロならず